

# 私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

## 西部福祉ショップをどうぞよろしく！

のどかな田園風景の中に、平塚市で4館目の福祉会館「平塚市西部福祉会館」（以下、西部福祉会館）が平成22年4月1日にオープンしました。

平塚市障がい者団体連合会は、西部福祉会館内の福祉ショップに計画時から関わり、平塚地区自閉症児・者親の会が「障害のあるなしに関わらず、地域で豊かに暮らせるための居場所づくり」を目指して運営しています。

アットホームな店で、カレー等の軽食提供や作業所製品を販売しています。

## ❖開店準備—子どもたちと臨んだプレゼン

開店準備は1年以上。県内の福祉ショップに足を運び、食器・メニュー等を吟味。助成金も各所から得て、設備も順調に整いました。

市のプレゼンには中学生2名も参加。目の前に並ぶ審査員に緊張しつつも「お皿洗いががんばります。オーっ！」とガッツポーズを決めたり、沈黙の後、大好きなアニメからの自己紹介。親は冷汗ものでしたが、自分なりに働きたい旨を訴えることができました。終了後「がんばったでしょ」と誇らしげに聞いてくる子どもたちの、達成感に満ちた表情が印象的でした。

## ❖内覧会…やはり子どもたちはすごい



コーヒーの豆挽き

竣工式並びに内覧会では、会館のご提案により福祉ショップの紹介を兼ねコーヒーを振る舞いました。

緊張する私たちをよそに、いつも通り黙々とコーヒー豆を挽き、笑顔いっぱい接客する子どもたち。その姿

は、会で調理レクを重ねてきた成果と、「どんな障がいがあっても笑顔で働ける場所を創りたい」という私たちの願いが、一歩踏み出したことを教えてくれました。

## ❖「働く体験のできる居場所」を目指して

皿洗いでは洗剤や水を飛ばしてしまったり、食器に洗剤の泡が残っていたり、その都度注意されていましたが、温かく接してくれるお客さまに見守られ、ずいぶん上手になりました。

家でのお手伝いとは違い、自分の親以外の人に教え

今月は

⇒ **神奈川県自閉症児・者親の会連合会**

がお伝えします！

1968年4月設立。県内11地区（横浜市・川崎市を除く）の自閉症児・者親の会による連合会です。行政施策の研究・提言、当事者・家族のためのミーティング運営、療育者等に向けた勉強・セミナー運営等、自閉症児・者と家族の支援や、自閉症スペクトラムの理解を進めるための活動を各市町村及び県に向けて展開しています。

〈連絡先〉 <http://kas-yamabiko.jp.org/>

 [info-kas@kas-yamabiko.jp.org](mailto:info-kas@kas-yamabiko.jp.org)



てもらったり褒められたりすることで、仕事に対して自信を持ち、働くことへの意欲も高まったように思います。

## ❖さまざまな出会い

ここではさまざまな出会いがあります。リサイクル品をご寄附くださる方、野菜を届けてくださる近隣の方はお芋掘りのレクも企画して下さいました。

引きこもりがちで外に出る練習のためとスタッフに加わった方は心配りのできる方で、今は別の職場へと旅立ちました。週1回皿洗いを担う軽度の知的障がいのある方は穏やかで、世間話をするのが楽しみです。

中高生ボランティア体験や特別支援学級の授業にショップを活用いただくこともありました。

近年では4月の世界自閉症啓発デーに、シンボルカラーであるブルーのコーヒー特別価格券を発行するなど、福祉ショップならではの啓発活動にも取り組んでいます。

これからも皆の居場所として、細く長く続けていけたらと思います。



## インフォメーション

### ■西部福祉ショップ

営業日：水曜日以外平日の午前11時30分～午後2時  
※臨時営業あり

住所：平塚市公所868

TEL 0463-50-6294（直通） FAX 0463-50-5526

URL [http://www.scn-net.ne.jp/~h\\_seibu/](http://www.scn-net.ne.jp/~h_seibu/)

（トップページに福祉ショップの紹介があります）